

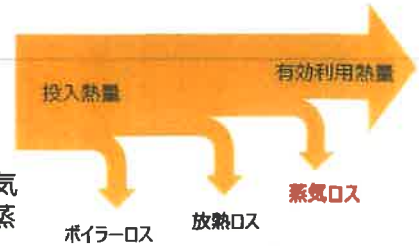
# 【省エネ対策】にご検討お願いします！

AITOZ Corporation 新型スチームトラップ

**e-Trap<sup>®</sup> (流量調整弁付き・ノズル式スチームトラップ)**

## 脱炭素へ 蒸気を見直しませんか？

蒸気は、種々の産業分野で幅広く利用されていますが、放熱や蒸気ロスにより30～45%も、損失していると言われています。損失の内、蒸気ロスは、主にスチームトラップに起因しています。



現在、一般的に使われている可動式スチームトラップの蒸気ロスには、以下のような要因があります。

- ① 構造に起因する蒸気ロス
- ② 劣化に起因する蒸気ロス
- ③ 吹き放し故障による蒸気ロス

故障の心配がなく、蒸気ロスを削減できるアイトスの新型スチームトラップe-Trap (イートラップ) を、ぜひお試しください。

e-Trap



e-Trap-II



### 安全第一

スチームトラップまわりの保守・点検作業は、高温、高圧の部位であり、危険を伴います。

可動式トラップの寿命は2～8年と言われていますが、e-Trapは複雑な作動機構がないため、長寿命です。

そのため、保守・点検作業が大幅に軽減され、職場の安全に貢献します。

### CO<sub>2</sub>削減

e-Trapの採用によって、年間140トンものCO<sub>2</sub>を削減した事例もあります。これは、杉の木1,610本が年間に吸収する量に匹敵します。

(蒸気1トン = 160.5kgCO<sub>2</sub>として計算)

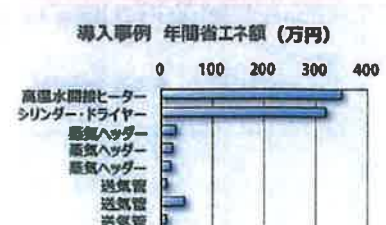


### 省エネ

蒸気ロスの削減は、燃料代の節約につながります。

年間300万円以上の節約を達成した事例もあります。蒸気漏れ量の少ない蒸気ヘッダーや送気管においても、1年以内に投資回収できる事例が少なくありません。

(蒸気単価 = 4円/kgとして計算)



## e-Trap<sup>®</sup> とは

蒸気ロスが  
少なく  
故障しない

現在、一般的に使われている可動式のスチームトラップは、ドレンが一定量溜まれば通路を開いて排出する構造になっており、排出孔は大きく設計されています。そのため、開いたときに蒸気も漏れると同時に、溜めたドレンが蒸気の熱を奪ってドレンに変えるという問題もあります。

それに対して、ドレン量に見合ったノズルを装着し、ドレンを溜めずに連続的に排出する、ノズル式スチームトラップが注目されています。

ドレン流量は一定ではないため、流量が少ない時には蒸気も漏れますが、その量はごくわずかであると言われています。

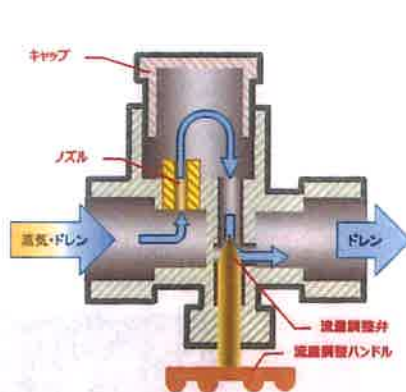
流量調整弁  
で  
蒸気ロスを  
更に少なく

他社のノズル式では、ノズルを決めてしまうと、ノズルを交換しない限りドレン排出能力を変更することはできません。

e-Trapは、流体工学の原理を応用して、一定の範囲で排出能力を調整できるように流量調整弁を設けました。

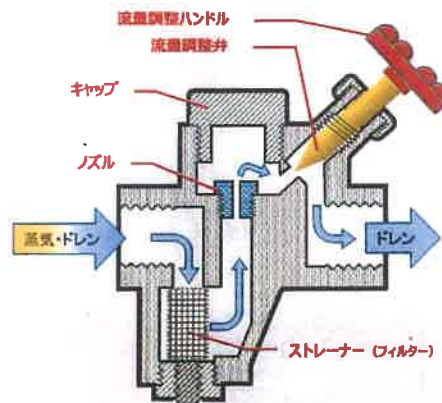
それによって、更に蒸気ロスを少なくすることができます。

e-Trap



- ◆本体材質：ステンレス鍛造
- ◆面間：103mm
- ◆最高使用圧力：3MPa
- ◆サイズ：25A(15A,20Aプッシング付属)
- ◆ノズル：1番～18番
- ◆ストレーナー：別途

e-Trap- II



- ◆本体材質：ステンレス鋳造
- ◆面間：121mm
- ◆最高使用圧力：2MPa
- ◆サイズ：15A,20A,25A
- ◆ノズル：e-Trapと共通
- ◆ストレーナー：一体型（60メッシュ※）
- ※ノズル1～3番は80メッシュ

製造元  
株式会社生活環境研究所  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5メローナ日本橋405

特約店  
アイトス株式会社 環境安全健康部  
東京 TEL：03-5835-2600 大阪 TEL：06-6262-5810  
URL：https://www.aitoz.co.jp/env/

PL保険加入済

「機械の無料相談窓口」

(株)小沢商店

TEL 0198-23-4724  
FAX 0198-24-9155